

2020年度 第2回運用容量検討会 議事録

日 時：2020年9月25日（金） 13:30～15:30

場 所：電力広域的運営推進機関（豊洲ビル）会議室C及びWebex（オンライン会議室）

出席者：

阿彦 幸一（北海道電力ネットワーク株式会社 工務部系統運用グループリーダー）
上石 晃（東北電力ネットワーク株式会社 電力システム部給電グループ課長）
佐藤 力（東京電力パワーグリッド株式会社 系統運用部系統運用計画チームリーダー）
甲斐 静治（中部電力パワーグリッド株式会社 系統運用部系統技術グループ課長）
山田 義徳（北陸電力送配電株式会社 電力流通部系統運用・保護チーム統括課長）
沢井 一智（関西電力送配電株式会社 系統運用部系統技術グループチーフマネージャー）
神田 光章（中国電力ネットワーク株式会社 系統運用部系統技術グループマネージャー）
鍋島 晃（四国電力送配電株式会社 系統運用部給電グループリーダー）
中澤 雅明（九州電力送配電株式会社 系統技術本部電力品質グループ長）
飯塚 俊夫（電源開発送配電ネットワーク株式会社
変電・系統技術部系統技術グループグループリーダー）

事務局

石井 幹也（電力広域的運営推進機関 運用部長）
田治見 淳（電力広域的運営推進機関 運用部担当部長）
多田 光伸（電力広域的運営推進機関 運用部マネージャー）
田中 孝明（電力広域的運営推進機関 運用部マネージャー）
金子 大作（電力広域的運営推進機関 運用部マネージャー）
寺島 正浩（電力広域的運営推進機関 運用部）
後藤 光（電力広域的運営推進機関 運用部）
平田 浩規（電力広域的運営推進機関 運用部）

配布資料

- 1 本四連系線の運用容量拡大について
- 2 調整力偏在による運用容量への影響
- 3 関西中国間連系線フェンス差分の設定見直しの検討について

議題 1：本四連系線の運用容量拡大について

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

四国電力送配電から資料 1 の説明を行った。

質疑無し。

議題 2：調整力偏在による運用容量への影響

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

事務局から資料 2 の説明を行った。

質疑無し。

議題 3：関西中国間連系線フェンス差分の設定見直しの検討について

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

中国電力ネットワークから資料 3 の説明を行った。

- ：緊急時の調整において隣接エリアからの相殺潮流として使う上げ調整力については、例えば、隣接エリアに限らず安価な上げ調整力を選定して活用するという考えがあるのではないかと。
- ：今回の提案は、関中フェンス差分という特殊な枠を取り止めて、運用容量を超過するような場合はどのような運用で対応していくかというものであり、再エネ予測誤差を抑え込む調整力として何を活用するのが適切かということが、今後数年内の課題になると認識している。関中フェンス潮流が運用容量を超過していない現状があるため、今後、課題がより明確に顕在化してきた断面で原因分析した上で、検討を進めていくことと考えている。
- ：課題の内容と将来的な課題であるという認識は一致しており、今後議論させていただきたい。
- ：承知した。
- ：将来的に中国エリアで調整力が無くなっていくような状況としてはどのような場合が考えられるのか。運用容量を超過する頻度や量が増えてくるのは、どのような状況なのか補足いただきたい。
- ：あまりないことと考えているが、例えば、将来中国エリアで再エネ出力制御を行っている断面で関西中国間連系線の関西向き潮流が大きく、かつ中国四国間連系線の潮流が四国向きの場合等の条件が重なるような状況が考えられるのではないかと。

以 上